

月刊
まち・コミ
8月号

1997年8月31日発行（毎月1回）
発行
阪神淡路大震災まち支援グループ
まち・コミュニケーション

〒653 神戸市長田区御蔵通 5-5 兵庫商会 3F
TEL 078-578-1100 / FAX 078-576-7961
e-mail koitrou@mvi.biglobe.ne.jp
URL http://sakuraia.c.u-tokyo.ac.jp/mikura/

「震災が問うた事」を「震災のまち」で知る

第1回 御蔵学校・開講!

8月22～24日の3日間に渡り、「御蔵学校」を開催いたしました。まち・コミ初の試みでしたが、途中参加の方も含めて10名ほどの方が「生徒」として参加していただきました。ありがとうございました。

全体を簡単に振り返りますと……

1日目ー被災地全体の2年半を振り返り、さらに“校長先生”の田中保三氏から、「御蔵の900日」についてお話しいただきました。

2日目ー「住民自身によるまちづくり活動」をテーマに神戸市内の北区鹿の子台・灘区琵琶町・長田区真野地区にお邪魔して、震災後の取り組みや「思い」を住民の方に語っていただきました。



灘区琵琶町・びわポケットにて



みなさん、お疲れさまでした!

3日目ー「神戸の経験を生かす為に」をテーマにワークショップ形式で意見交換をしました。

「御蔵学校」では「まちづくり」を中心に今後も様々な方々からお話を伺うつもりです。本誌上でも少しずつご紹介いたしますが、今後も皆さまの積極的なご参加をお待ちしています。
(小野)

次回、

12月に開講予定です!!

もくじ

P1

★御蔵学校の報告

P2

★御蔵で夏祭り

やったで～

◎『御蔵の街かど』

P3

◎東京の

朝日カルチャーセンターの
受講生神戸研修へ!

★神戸世相

きのうきょう

★ご協力

頂いた皆さまへ

P4

◎先月の動き

「まち・コミ」

今月も行く

★編集後記

北区鹿の子台

神戸市の北部に位置する新興住宅地。震災の年に、建っていた住宅戸数を上回る訳1800戸の大規模仮設が建てられる。

灘区琵琶町

震災により地区の8割が全壊、一部全焼の被害を受け、区画整理の指定を受ける。地区の文集発行など、ソフト面の活動も活発。

長田区真野地区

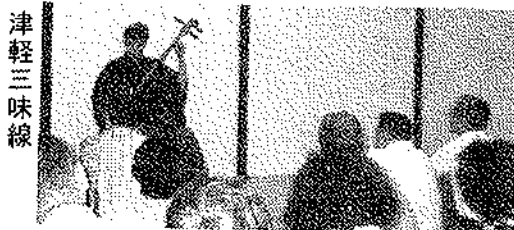
30年に及ぶ「まちづくり」で有名な地区。震災も住民パワーで難関を乗り越える。先日、全焼世帯による共同再建が実現、竣工。

御蔵で夏まつり

2日間の小さくて大きな夏祭りは、津軽三味線奏者田中竹仙氏の弦の響きで始まった。8月5日の夕方、プレハブのまちの集会所の一階にぎっしりと70人以上の人。その染みわたるような音色にほとんどの人が息をのみじっと聞き入り、清涼な響きは蒸し返された更地のまちを涼やかにしてくれました。

8月6日は、昼間はまずまずの天気だったのに、夕方から空行きが怪しくなったが、河内音頭連合会から20名以上の歌い手と奏者が本場大阪から駆けつけて下さいました。そして音響機材の設置に加えて、やぐらの上のブルーシート張りや雨対策をしている間に雨は降り始め、一時はどうなることかと思いましたがしばらくするとほとんどやんだので河内音頭開始！。雨足が人の出を引っぱったせい、昨年よりも出足は悪かったのですが、それでも多くの人々が踊りの輪に加わりました。

今回のお祭りでは、ただでさえ少ない住民の中から有志が集って会場整備ややぐら組みを地区外に住んでいる住民も加わって行ってらっしゃいました。やぐらは被災直後の燃えさかる住宅や工場の棟の中で奇跡的に焼け残った町会の倉庫にしまってあったもの。昨年の夏祭りで宮城の方々の飾って下さった巨大で美しい七夕飾りをみなさんで3日前の日曜日にがんばって飾り付けしましたが、強風で危険なためおろさなければならなかったのはとても残念でした。



津軽三味線



みなさんで準備

河内音頭で踊るみなさん

でも、いろいろな方々のいろいろな協力とアイデア、ひとまずこの夏の納涼のイベントはよい場づくりになったのではないのでしょうか・・・。

まちコミでも、出演くださった方々の間との連絡調整や準備などお手伝いできて良かったと思いました。

御蔵のまらかど



夏の目差し照りつける中、さすがの植物達もちよつと力弱そうに見えます。そうして夏の総仕上げをするかのように、8月23日、神戸の街に地蔵盆の日がやってきました。地蔵盆は関西圏の古い下町で路地のあちらこちらにあるお地蔵さんの入り口やお地蔵さんの周りにお祭りする行事で、神戸では路地が7つ以上のお地蔵さんをお参りして、配られるお菓子を山様に抱えて走り回る姿が見られます。

御蔵5・6丁目では、震災前は6・7カ所はあったお地蔵さんが、現在は3カ所になり、今年2カ所でお祀りがされました。お世話の中心を担っているのは、1カ所は、ずっと地蔵盆のお世話を震災前にしていましたが現在地区外に住んでおられるご夫婦で、もう一カ所は、こちらも震災前からお世話してくれていらつしやるご夫婦。現在はお仕事がお2人も忙しく

私達もボランティアの学生君たちと一緒に、ちよこつと机やすを出したりテント張ったりとお手伝い。当日は朝から近所や近くの会社などからお菓子やジュースの差し入れがいくつも箱でやってきます。寸志もきます。これらを並べお地蔵さんもきれいにし、火鉢を用意して、いよいよ夕方になると、今度もまわってあげた子供たちにお線香を火鉢に立てて拝むようにうながしてあげて、お菓子を渡してあげます。にぎやかなところですが、今回お地蔵さんの周りでは、準備を手伝って、私たちがボランティアの一行も御蔵のお地蔵さんのところへ十人ぐらいで

ご近所があまりいなくなってしまうと、お仕事も忙しくなってしまう。今年は地蔵盆はやめようと思われていたそうだが、昨年引続きご一緒させて下さい！と喜んで、一緒に盛り上がるのに及ばずとも、ありがたうございます。でも、今年も震災前には訪ねていらつしやる、懐かしい方同士で話しながらお話を伺っていらつしやる、懐かしい方同士

次の日、お世話した方はお片づけもされず。お返しのお菓子やお志を下さった方へ、お返しのお菓子を手に包みながら、地域行事を支える方の姿に頭が下がりました。



朝日カルチャーセンターの
ボランティア講座受講生

神戸で実際に見て聞いて感じる!



東京の朝日カルチャーセンター主催で、SVA 東京事務所がコーディネートしての連続講座の受講生8名、20～40歳代の社会人と学生(1名)の組み合わせが、8月30・31日と現地神戸での泊まり込み研修を行われ、ふつつかながら浅野も補佐で同行させて頂きました。

まず長田区の鷹取教会で定住外国人支援センターの金さんなどに外国人被災者の現状やボランティア活動の説明を受けた後、当「まち・コミ」で、御菅地区を中心とした阪神間の被災の詳しい状況やなかなか再建の進まない現状やなぜなのかについて説明し、兵庫商会田中社長より企業被災者としての経験を聞いた。翌日は西神第2仮設住宅のふれあいセンターに参加しながら個々に住民の方に向き合いつつ交流させて頂きました。

帰ってきてから2時間弱感想を書いて意見を出し合いましたが、真剣に一言一言、風景、状況を刻み込むように歩いてまわられたみなさんはそれぞれに感じ、考えておられました。

帰ってから東京でミーティングを行うとの事。今後がんばって色々な事にトライしたり勉強したりして頂ければと思いました。



◎168人目・・・仮設の孤独死、水道料金滞納、面会せずに給水停止(8.9、神戸)8月7日、53歳の仮設入居女性が病死で死亡しているのが発見されたが、水道局は2ヶ月間に7回督促に訪れたがあえず7月末立ち会いのないまま給水を停止。死因との関係よりも行政の連携のなさが指摘されている。

◎神戸地裁、全壊住宅の欠陥認定、販売会社などに賠償命令(8.27、神戸)購入して1年半あまりで地震により全壊した家の持ち主が、構造上建築基準法施工令に違反していたと販売した不動産会社を相手取り損害賠償を求めた裁判で、不動産会社に4470万円の支払いを命じた。

◎震災直接被害商工業6兆円、県推計の2.3倍、間接被害は一年で7兆2000億円、神大教授試算(8.13、神戸)神戸大学国際協力研究科豊田利久教授が1250企業の直接間接被害の平均から推計してまとめる。間接被害はその後にも増え続け、相当な額に登っていると思われるコメント。

◎市場・商店街・中小製造の復興へ、神戸市総額68億円の新たな対策(8.23、神戸)被災後未だに事業を再開できない中小事業者に対して「再開資金融資制度」を創設。減税や低利融資、利子補給、工場家賃補助も含む14項目の産業支援策を決める。

◎復興公営賃貸住宅、最多1万5千戸募集、来月9.26日から募集(8.22、神戸)第四次募集で、今回募集の最終入居時期が99年7月。これまで2万5,746戸の入居決定、うち仮設からの入居者は1万2,241世帯。

協賛・協力

7～8月にかけての協賛とご協力。
本当にありがとうございました。



協賛

- 関根美子
(あらばき共同印刷、東京都)
- 鈴木幸治(㈱アーキック、兵庫県)
- 小野一義(神奈川県)
- 北川幸三(大阪府)
- 澤田修一郎(京都府)
- 望月町商工会議所(長野県)
- 日本ホリス教団鶴沼教会(神奈川県)
- 鈴木和博(新潟県)
- 林隆史(埼玉県)
- 渡戸一郎(明星大学助教授、東京都)
- 新川泰道(秋田県)
- 四本仁子(千葉県)
- 徳泉寺 早坂文明(宮城県)
- 横田尚俊(山口大学助教授、山口)
- 塩見薫
(財)日本放送協会副理事長、東京都)

協力

- 遠藤勝裕(日本銀行、埼玉県)
- 塩見薫(協賛の欄参照)
- 中辻直行(ケアセンター長田施設長、神戸市)
- 浦野正樹(早稲田大学教授、埼玉県)
- 中川清司・たみ子
(琵琶町復興住民協議会、神戸市灘区)
- 西野貴美子
(鹿子台ボランティア連絡会代表、
神戸市西区)
- 清水光久
(真野地区復興・まちづくり事務所
神戸市長田区)
- 宮西裕司
(神戸・地域問題研究所、神戸市)
御蔵5・6丁目町づくり協議会

※敬称は略させていただきました

まち・コムも行く!



この6・7月は、何といっても東京での連続講座の準備開催で、東京～神戸間を行ったり来たりの日々でした。東京で被災の現状と問題を伝え、理解してもらう試みはなかなか難しいものでしたが、パネリストや手伝って下さったみなさんの熱意で、それなりに意味のあるものになったと感じます。

またこの夏も、地藏盆の手伝いなど含めて学生や社会人のボランティアさんがわざわざ東京から来てくれました。「次は何しましょうか?」「なぜその様なことになってるんですか!?!」熱心で優しい皆の、青春の日に関わった神戸を、とんとん自分の中に吸収して肥やしにして欲しいと思いました。

6月

- 1 御蔵5・6・7クリーン作戦
共同化会議
- 2 NPO法案についての地方公聴会
- 4 共生共創センター話し合い
- 7 NPOフォーラム in 神奈川参加(8日も)
- 11 御蔵5・6丁目まちづくり協議会役員会
- 12 共生共創センター話し合い
- 13 震災とは何だったのか3回目
- 14 SVA総会早稲田奉仕園(浅野)
共同化会議・準備会発足
- 17 共生共創センター話し合い
- 22 御蔵5・6住民集会
- 25 みくら5・6・7我が街の会会合
- 27 御蔵5・6丁目まちづくり協議会役員会
- 28 HAR基金公開審査
- 29 共同化準備会(第1回)
- 30 共創共生センター話し合い

7月

- 5 タウンミーティング打ち合わせ
- 6 共同化準備会(2回)
- 11 共生共創センター打ち合わせ
御蔵5・6丁目地区計画提出
- 12 みくら5・6・7の会
- 13 共同再建準備会でユーコート見学
- 17 仮設ケア・ネットワーク
共生共創センター打ち合わせ
- 18 共同化準備会(3回)
- 22 東京で「震災とは何だったのか」今後の話し合い
- 27 共同化準備会(第3回・住都公団参加)
- 29 共生共創センター話し合い
- 30 小島先生の別荘(蓼科高原)で、強化合宿?

通信費カンパ・募金のお願い & 定期購読のおすすめ

現在、まち・コミュニケーションでは、活動に必要な資金への募金のお願いをしております。

現在私たちのグループは、台所事情は楽ではありませんが、活動に当たっては、通信費はもちろん、事務所運営維持費や消耗品費など、支出の避けられないものが多々あります。今後の被災地のまち復興のための活動への、ご支援をどうぞおねがいたします。

【郵便振替口座番号】00950-3-42788

【口座名称】「まち・コミュニケーション事務局」

また、この通信紙を継続的にお読みにになりたい方は
表の事務所連絡先までご連絡下さい。



編集後記

☆今月は暑かったあ。私の巣は長田駅から幹線沿いに南に下って国道2号線の少し手前。6畳一間トイレ共同風呂なしのアパートは東京の下町で幼い頃長屋で暮らした経験のある私にとってはそれなりに愛すべき場所だが、クーラーがないという事実で眠れない幾度かの夜大きく後悔をした。(浅野)
☆気がつけば9月。ともかく時の流れが早い、早すぎる…。私もついに三十路を神戸で迎えてしまいました。神戸の中は市長選やら復興公営の一元化募集やらでバタつきそうな気配です。(小野)